

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		文化の振興				整理番号	120		枝番号			
担当部課名		区民生活部文化・交流課		コード	051201		連絡先電話番号	2284		昨年度整理番号	100	
係名				上位施策名				No				
予算事業名				文化・交流の推進		コード	12050		文化・芸術活動の推進			65
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 元 年度				根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業							
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 杉並区文化・交流推進委員会設置要綱							
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 区民				(2) 杉並区施設文化費運用に関する要綱							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 日本フィルとの友好提携事業、文化・交流協会の運営助成、文化・芸術活動の後援・共催等を通して、文化事業の提供・支援を行う。				(3) 杉並区・日本フィル相互協力に関する覚書							
	活動指標名(式) (1) 日本フィルとの友好提携事業の実施回数 (2) 後援・共催名義使用承認事業実施件数				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 地域の中で、区民が優れた文化・芸術に触れる機会が増えるとともに、区民の主体的・創造的な文化・芸術活動が活発になる。							
				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 日本フィルとの友好提携事業の参加者数 (2) 後援・共催により実施した事業の参加者数								
区分		単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値	目標値に対する15年度の達成率%			
					計画	実績		年度				
指標	活動指標(1)		回	36	37	35	34	35				
	活動指標(2)		件	36	50	50	46	50				
	成果指標(1)		人	11,007	10,887	11,000	11,753	11,000				
	成果指標(2)		人	97,283	94,371		67,986					
総事業費・コスト把握	事業費		千円	4,019	4,138	10,240	5,017	14,327	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 成果指標(2)の後援・共催により実施した事業の参加者数の減少は杉並公会堂改築等による規模の縮小(荻窪の音楽祭)のためで、件数は増加している。			
	(内)委託費		千円									
	職員数(正規 非常勤)		人	1.25	1.17	1.30	1.39	1.50				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	11,243	10,523	11,692	12,502	13,491				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 + +		千円	15,262	14,661	21,932	17,519	27,818				
	単位あたりコスト ÷		円	423,944	396,243	626,629	515,265	794,800				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0				0
差引:一般財源 -		千円	15,262	14,661	21,932	17,519	27,818					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の15年度達成率%	97.1	活動指標(2)の15年度達成率%	92.0	15年度予算執行率%	49.0	3年に一度開催する杉並アート公募展を実施し、経費のうち需用費について節減を行った。また、杉並区ゆかりの文化人ビデオについては、企画内容の検討等をする中で未執行となった。			
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			日本フィルとの友好提携事業について、鑑賞機会の提供を中心としたものに加え文化・芸術振興の観点から、音楽のワークショップなど友好提携の地域還元のための事業を発展させていくことについて日本フィルと協議を続けている。また、区民ギャラリーについては、広報・ホームページでPRを行い、身近な所で文化芸術に触れる機会を提供するとともに、区民等の芸術作品の発表の場を提供している。									

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成10年度に「杉並区における文化・芸術振興のあり方懇談会」の報告に基づき、文化専管組織として文化・交流課を設置した。また、平成6年に日本フィルと友好提携して以来、当初年間7回だった公開リハーサル等の友好提携事業は34回と増加し、身近な地域で優れた音楽を提供しており、区民に定着してきている。しかし、平成15年度から杉並公会堂が改築工事に入り、友好提携事業(特にリハーサル会場の提供)について一部支障が生じている。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	日本フィルとの友好提携事業については、身近なところで優れた音楽に触れる機会ができてよいという意見が多数寄せられている。小・中学校への出張音楽教室は、生の演奏を聴いた子どもたちの感動の声があふれ、他の区内施設への出張コンサートも好評で要望が多い。
	今後の予測	日本フィルとの友好提携事業は、各種コンサート、公開リハーサル、出張音楽教室と定着した感があるが、友好提携を生かした新たな区への貢献を日本フィルも模索している。ただし、15年度より公会堂の改築工事が始まり、友好提携事業は新公会堂完成までの間、一部に支障が生じる。また、平成15年度から庁舎2階に区民ギャラリーを開設し、地域の中で区民が優れた文化・芸術に触れる機会が増えるとともに、区民の主体的・創造的な文化・芸術活動を支援することができる。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)		理由: 区民が身近なところで文化・芸術に触れることができる機会の提供により、文化・芸術の薫り高いまちづくりの一翼を担っており、施策に対する貢献度は高い。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が自ら実施(理由)		理由: 区民の生活にゆとりを与える文化の振興、地域性を生かした文化の振興は、区が行うべきである。また、日本フィルとの友好提携事業は区の事業として実施している。
	協働等は実現しているか		理由または具体的内容:
	協働等の相手		
	協働等の主な形態		
(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()		理由または具体的内容:	
成果向上のための方策 事業費・活動量の増加(具体的内容)			
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)		理由または具体的内容: 日本フィルとの提携事業は、友好提携の覚書に基づき、日本フィルから無償もしくは低廉な価格で提供されており、区民に還元すべき性格の事業である。また、その他の事業も地域文化の創造のために実施しており、基本的に無償で実施している。	
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由)		理由または具体的内容: 区が実施している文化事業は無償もしくは、低廉な価格で提供されている。また、その他事業費についても必要最小限のコストで実施しているため、削減の余地はない。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄	
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入			
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性			<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input checked="" type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 16年度に比べ日本フィルハーモニー交響楽団との友好提携10周年記念事業の予算分が減少する。			

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		杉並区文化・交流協会				整理番号	124		枝番号			
担当部課名		区民生活部文化・交流課		コード	051201		連絡先電話番号	2284		昨年度整理番号	104	
係名				上位施策名				No				
予算事業名				杉並区文化・交流協会		コード			文化・芸術活動の推進		65	
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成				12年度		根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 杉並区文化・交流協会補助金交付要綱							
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(2)							
	杉並区文化・交流協会				(3)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 杉並区文化・交流協会に対し、文化・交流事業が円滑に行えるように補助金を交付する。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 区民の文化・芸術に触れる機会が増えるとともに、国内外の都市との交流が促進され、区民の文化・芸術活動並びに交流活動が活発に行われることを実現するために、協会が推進役となって機能する。							
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標								
(1) 区補助金額 協会歳入決算額				(1) 協会会員数対前年伸び率								
(2) 協会会員数				(2)								
区分		単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値		目標値に対する15年度の達成率%		
					計画	実績		年度				
指標	活動指標(1)		%	68	53	65	62	64				
	活動指標(2)		人	1,325	1,289	1,600	1,359	1,400				
	成果指標(1)		%	0.3	▲ 2.7	24.1	5.4	3.0				
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	56,615	50,873	65,310	60,252	65,632	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)			
	(内)委託費		千円									
	職員数(正規 非常勤)		人	7.98	8.24	8.30	8.43	8.40				
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	71,772	74,111	74,650	75,819			75,550	
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0	
	総事業費 ++		千円	128,387	124,984	139,960	136,071	141,182				
	単位あたりコスト ÷		円	1,888,044	2,358,189	2,153,231	2,194,694	2,205,969				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0	
差引:一般財源 -		千円	128,387	124,984	139,960	136,071	141,182					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の15年度達成率%	95.4	活動指標(2)の15年度達成率%	84.9	15年度予算執行率%	92.3				
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)												

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	杉並区文化振興協会と財団法人国際交流協会が統合し、平成12年度から杉並区文化・交流協会として事業展開をしている。区は運営のための補助金を交付している。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	身近なところで低廉な料金を、優れた文化・芸術に触れることができる機会がほしい。また、異文化を理解し人と人とのふれあいも体験できる交流の機会を拡充してほしい。
	今後の予測	文化・芸術活動や交流活動を実施している民間団体・NPO法人等が多くあり、多様な文化・交流事業が提供されている。こうした中で、協会として実施する事業を精査していくことが必要であるため、補助金交付について影響があることが予想される。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由: 区からの補助金により、協会の事業は円滑に行われており、区民の文化・交流活動に寄与している。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が自ら実施(理由)	理由: 区が設置した外郭団体であり、運営基盤の確立からも必要である。
	協働等は実現しているか	理由または具体的内容:
	協働等の相手	
	協働等の主な形態	
	(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容:
成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)		
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 協会事業は低廉な価格で優れた文化・芸術の提供や交流の支援を行っており、参加者に応分の負担も求めているため、現状での見直し余地はない。	
(5) コストを下げる余地はあるか ある [民営化・外部委託化] (具体的内容)	理由または具体的内容:	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄				
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入						
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法						
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増	<input type="radio"/> 増	<input checked="" type="radio"/> 増減なし	<input type="radio"/> 減	<input type="radio"/> 大幅減	<input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由						

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		文化財保護審議会運営				整理番号	811		枝番号					
担当部課名	教育委員会事務局社会教育スポーツ課			コード	600710	連絡先電話番号	1667		昨年度整理番号	863				
係名	文化財係			上位施策名				No						
予算事業名	文化財調査・保護			コード	81400		文化・芸術活動の推進				65			
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成				57 年度		根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業							
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				(1) 文化財保護法									
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				(2) 杉並区文化財保護条例									
	区内の有形・無形の文化財				(3)									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 教育委員会の諮問に応じ、文化財の保護・活用について、調査・審議及び建議をする。 審議会委員 現員9名				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 区の文化財として指定・登録することにより、文化財の保護と活用が適切に行われるようにする。									
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標										
(1) 文化財保護審議会の開催数				(1) 審議会成立回数 ÷ 審議会開催予定回数										
(2) 審議会での審議件数				(2) 審議会答申・建議件数 ÷ 審議会諮問件数										
区分		単位	13年度実績		14年度実績		15年度		16年度		目標値	目標値に対する15年度の達成率%		
							計画	実績		計画	年度			
指標	活動指標(1)		回	14		9		8		10		8		
	活動指標(2)		件	4		3		3		4		3		
	成果指標(1)		%	155		100		100		125		100		
	成果指標(2)		%	100		100		100		125		100		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	756		576		864		732		864	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)	
	(内)委託費		千円											
	職員数(正規 非常勤)		人	0.42	0.50	0.42	0.50	0.51	0.50	0.31	0.75	0.31		0.60
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	3,777		3,777		4,587		2,788			2,788
		非常勤職員分		千円	1,380		1,380		1,380		2,069			1,655
	総事業費 + +		千円	5,913		5,733		6,831		5,589		5,307		
	単位あたりコスト ÷		円	422,357		637,000		853,875		558,900		663,375		
	財源	受益者負担分		千円										
		国・都等からの支出金		千円										
		特定財源計 +		千円	0		0		0		0			0
差引:一般財源 -		千円	5,913		5,733		6,831		5,589		5,307			
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の15年度達成率%	125.0		活動指標(2)の15年度達成率%	133.3		15年度予算執行率%		84.7			
			文化財保護審議会は必要に応じて召集されるため、15年度は予定回数を上回る開催となった。また、15年度は区からの諮問事項だけでなく、埋蔵文化財行政に対する建議もあり、審議会が積極的に機能したと言える。											
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			審議会自体を効率的に開催し、少ない回数でより成果が上がるよう効率的な運営を行うよう努めている。											

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	文化財保護審議会は、昭和57年の発足以来、毎年、区の指定登録文化財の調査・審議を行っており、現在、120件の文化財を登録し、そのうち70件を区指定文化財としてきた。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	地域の歴史・文化への区民の関心は高まっており、文化財保護審議会に対する区民の期待も高まっている。
	今後の予測	区民の文化財に対する関心の高まりもあり、文化財の指定登録だけでなく、文化財保護行政全般に対する答申・建議等が増えていくことが期待される。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 高度な専門的能力・知識を有する文化財保護審議会委員が、文化財について、調査・審議することにより、区の伝統的な文化資源が適切に保護・継承されて、質の高い文化財保護行政の遂行が期待できるため、施策への貢献度は大きい。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は NPO・企業等と行政がともに主体として実施(^)	理由:
	協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	理由または具体的内容: 文化財保護審議会は、教育委員会の諮問に応じ、文化財の保存及び活用に関する重要事項を調査審議し、並びにこれらの事項について教育委員会に建議する。
	協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^)	具体的には ア 区文化財の登録・指定及びこれらの解除 イ 区登録・指定無形文化財の保持者又は保持団体の認定・解除等 ウ その他
	協働等の主な形態 実行委員会・協議会(具体的内容)	
	(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由)	理由または具体的内容: 文化財保護審議会委員は、高度な専門的能力・知識を有し、区文化財保護条例により、権限や身分なども規定されていて、その活動には独自性が強い。現在は定員12名以内のところ、9名で構成し予算を抑えているが、このため、記念物等の自然系の専門家が不在のため、指定・登録物件に偏りがみられる。より広い視野で文化財の選定を行い成果を向上させるには委員の人数を増やし分野を多様化する必要がある。
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 区民全体が受益者であり、受益率の測定も困難である。	
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 文化財保護審議会委員の高度な専門的能力・知識と学術性を確保するため、委員報酬のコスト低減は困難な側面が強い。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 より広い視野で文化財の選定を行い成果を向上させるには記念物などの自然系の専門家も招聘し、委員の人数を増やし分野を多様化する必要がある。		
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 委員の人数を増やすためには、それだけ予算増が見込まれる。 各分野のしかも杉並区の状況に詳しい専門家が少ないため、委員の高齢化が進んでいる。これについては、委員の定年制も視野に入れて検討したい。		
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2) 理由	委員の任期は2年のため、16年度に第12期の委員を委嘱したため、17年度までは現行の体制で審議会を運営していく。	

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		文化財保護の啓発				整理番号	812		枝番号	1			
担当部課名	教育委員会事務局社会教育スポーツ課			コード	600710		連絡先電話番号	昨年度整理番号		864			
係名	文化財係			上位施策名				No					
予算事業名	文化財調査・保護			コード	81400		文化・芸術活動の推進				65		
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成			58 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業							
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理					(1) 杉並区文化財保護条例							
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他					(2)							
	区民一般					(3)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 文化財保護指導員を各地域に配置し、区内文化財・案内標示板等の見回り、区民へ文化財保護思想の普及や、文化財所有者への助言などを行い、文化財が適正に保護されるようにしていく。					事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 文化財保護指導員が積極的に活動することにより、文化財所有者や一般の区民の文化財保護に対する意識がより高まること。							
活動指標名(式)					成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標								
(1) 文化財保護指導員の現人数					(1) 文化財指導員の現人数 ÷ 指導員の規定定員数								
(2) 文化財保護指導員からの報告件数					(2) 指導員からの報告件数 ÷ 指導員数								
区分		単位	13年度実績		14年度実績		15年度		16年度		目標値	目標値に対する15年度の達成率%	
							計画	実績	計画	年度			
指標	活動指標(1)		人	7	7	7	7	6					
	活動指標(2)		件	3	1	7	2	6					
	成果指標(1)		%	35	35	35	35	30					
	成果指標(2)		%	43	14	100	29	100					
総事業費・コスト把握	事業費		千円	235		235		235		274		特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)	
	(内)委託費		千円										
	職員数(正規 非常勤)		人	0.30	0.10	0.30	0.10	0.30	0.10	0.60	0.20		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	2,698		2,698		2,698		5,396		
		非常勤職員分		千円	276		276		276		552		
	総事業費 + +		千円	3,209		3,209		3,209		6,222			
	単位あたりコスト ÷		円	458,429		458,429		458,429		1,037,000			
	財源	受益者負担分		千円									
		国・都等からの支出金		千円									
		特定財源計 +		千円	0		0		0		0		
差引:一般財源 -		千円	3,209		3,209		3,209		6,222				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0				
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の15年度達成率%		100.0		活動指標(2)の15年度達成率%		28.6		15年度予算執行率%		100.0
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			区民との協働が推進される中で、文化財保護指導員の業務の内、文化財及び案内標示板などの見回り、区民への啓蒙活動については、区民ボランティアにシフトしていく方向で、16年度にはボランティア養成をすすめている。										

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	事業開始当初20名いた指導員も、高齢化などにより減少している。また地域の古いことを知っているの方々を任命しているため、現状のままでは、その補充もままならない状況である。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	文化財に対する区民の興味関心は高まっており、事業を積極的に進めることで、ますます区民の文化財保護に対する関心が高まると想定できる。
	今後の予測	現在任命している保護指導員も高齢化が進み、このままでは指導員制度が機能しなくなる可能性が大である。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 小(理由)	理由: 地域の歴史を知る指導員にふさわしい人が減り、その指導員も高齢化しているため、望ましい状況から考えて、現状では指導員制度の機能が十分に発揮できていない。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が主体、NPO・企業等が協力(^)	理由: 文化財保護指導員の業務の内、指導・助言など高度な知識を必要とする部分を除き、指導員の機能を区民ボランティアにシフトしていくことが望ましい。
	協働等は実現しているか 実現していないが今後可能性がある(具体的内容)	理由または具体的内容: 必要なトレーニングを受けたボランティアを養成し、指導員との役割分担を行いながら、ボランティアには、文化財や案内標示板等の見回り、区民への普及活動を担当してもらい、指導員には文化財所有者等への指導助言および文化財ボランティアの相談役として機能させていくことにより、現在機能低下している指導員制度にかわるものを区民との協働の中で創造していく。
	協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	
	協働等の主な形態 その他(具体的内容)	
	(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由)	理由または具体的内容: 文化財ボランティアを養成し、そのボランティアとの協働を行っていくには、今までになかった必要経費がかかるため、現行の事業費では厳しいものがある。(このため、16年度予算ではボランティア制度を試行していくための予算が計上されている。)
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 区民全体が受益者であり、受益率の測定も困難である。	
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 新規にボランティア制度を導入するため、必要最小限のコストは増える。しかしそれによってコストパフォーマンスの高い効果が期待できる。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄	
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 当面は、必要なトレーニングを受けたボランティアを養成し、指導員との役割分担を行いながら、ボランティアには、文化財や案内標示板等の見回り、区民への普及活動を担当してもらい、指導員には文化財所有者等への指導助言および文化財ボランティアの相談役として機能させていくことにより、現在機能低下している指導員制度にかわるものを区民との協働の中で創造していく。また、将来的にボランティア自身の研鑽などにより、ボランティアに実力がつけば、指導員制度を廃止し、ボランティアに全て移行していくことの視野に入れて考える。			
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし		
	(2) 理由	平成16年度にコミュニティ・カレッジで文化財保護ボランティア養成講座を実施しているが、そのうちどれだけの区民が文化財保護ボランティアとして活動をともにしてくれるかは未定である。しかし、文化財保護ボランティアが16年度中に活動を始めるようになることは想定できるため、今後の文化財保護行政の中でどれだけ協働してやっていけるかは、今後の課題である。		

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		出版物・標示板等の作成				整理番号	812		枝番号	2				
担当部課名	教育委員会事務局社会教育スポーツ課			コード	600710		連絡先電話番号	1667		昨年度整理番号	864 867			
係名	文化財係			上位施策名				No						
予算事業名	文化財調査・保護			コード	81400		文化・芸術活動の推進				65			
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 45 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業									
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				(1) 杉並区文化財保護条例									
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 一般区民				(2)									
					(3)									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 区内の文化財を周知するため、文化財についての冊子を刊行し、また文化財等の所在地に案内標示板や標柱を設置し、文化財保護の啓発を行う。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 文化財を保護・継承するため、文化財の意義や特徴について、区民に周知する。									
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標										
(1) 文化財関係出版物の発行部数				(1) 文化財関係出版物発行部数 ÷ 同発行予定部数										
(2) 文化財案内標示板・標柱の設置件数				(2) 文化財案内標示板・標柱の設置・改修基数 ÷ 同予定件数										
区分		単位	13年度実績		14年度実績		15年度		16年度		目標値	目標値に対する15年度の達成率%		
							計画	実績	計画	年度				
指標	活動指標(1)		部	1,000		500		1,000	3,000		1,000			
	活動指標(2)		基	4		5		4	5		4			
	成果指標(1)		%	100		100		100	300		100			
	成果指標(2)		%	133		167		100	125		100			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,662		1,391		1,459		1,782		1,359	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)	
	(内)委託費		千円	974		975		682		669		882		
	職員数(正規 非常勤)		人	1.83	1.00	1.83	1.00	0.75	0.50	0.75	0.50	0.75		0.30
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	16,459		16,459		6,746		6,746			6,746
		非常勤職員分		千円	2,759		2,759		1,380		1,380			828
	総事業費 + +		千円	20,880		20,609		9,585		9,908		8,933		
	単位あたりコスト ÷		円	20,880		41,218		9,585		3,303		8,933		
	財源	受益者負担分		千円										
		国・都等からの支出金		千円										
		特定財源計 +		千円	0		0		0		0			0
差引: 一般財源 -		千円	20,880		20,609		9,585		9,908		8,933			
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の15年度達成率%	300.0		活動指標(2)の15年度達成率%	125.0		15年度予算執行率%	122.1				
			文化財案内標示板については、劣化の目立つものが増えているため、今年度は増設せず既存のもの盤面の張替えを行った。また刊行物については、年度途中で史跡散歩地図が品切れになったため、急遽予算流用して増刷したため、印刷物は予定の3倍の発行となった。											
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			15年度中に史跡散歩地図を増刷したため、16年度は予算要求をしなかった。予定よりも早く史跡散歩地図が品切れになったことは、地図が好評であり、またこうした地図を利用する史跡散歩を行う人(文化財に興味を持つ人)が増えている証である。											

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	昭和45年以来、区の文化財や区が新たに指定登録した文化財について解説した冊子「杉並区の指定登録文化財」を刊行し、必要に応じて、「埋蔵文化財保護の手引き」「文化財保護の手引き」「杉並区歴史散歩地図」「文化財シリーズ」を刊行している。昭和53年から平成15年度末までに、文化財の所在地に文化財案内標示板を150基、標柱を50基設置している。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	地域の歴史や文化への区民の関心は強い。したがって、本事業に対する区民の期待は高まっている。こうした中で、文化財案内標示板・標柱が風化・劣化し内容が読めないとの苦情が何件か入っている。
	今後の予測	毎年3～4件の文化財の指定登録が行われるため、今後もこのペースでの標柱の設置が予測される。標示板については、風化して読めなくなった標示板の盤面改修を優先的に行っていく。「杉並区の指定登録文化財」は、今後も、毎年刊行していく。また、その他の刊行物も計画的に刊行していきたい。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 区の文化財を区民に周知することにより、区民の文化財に対する関心を高めている。したがって、施策への貢献度は大きい。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が主体、NPO・企業等が協力(^)	理由:
	協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	理由または具体的内容: 文化財関係出版物の発行及び文化財案内標示板・標柱の設置を委託する業務であり、受託者は区の指示どおりの業務を行うのみである。
	協働等の相手 企業・個人事業者(^)	
	協働等の主な形態 委託 [業務量の50%未満に相当] (具体的内容)	
(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容: 内容を吟味しより区民が利用しやすい冊子の刊行、標示板の文面の検討をしていく。	
成果向上のための方策 その他(具体的内容)		
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 区民全体が受益者であり、受益率の測定も困難である。	
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 現在も低価格(単価)で契約しており、これ以上のコスト削減は困難である。逆にコストを下げることで品質が低下すれば、今後の維持に余計な費用がかかることも想像に難くない。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 区の文化財・埋蔵文化財を紹介・解説する各種刊行物の発行部数について精査し、最適な部数を追及する。今後設置・改修する文化財案内標示板・標柱の規格(品質・材質)等に統一性を持たせ、区民が見やすい文化財案内標示板・標柱の設置・改修に努める。		
17年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 区の文化財・埋蔵文化財を紹介・解説する各種刊行物の発行部数については、直ちに捉えがたい側面もあるが、配布先等を精査して、最適な部数を追及していく。文化財案内標示板・標柱は、現在でも低価格で契約しているため、これ以上のコスト低減が可能か否か困難な側面が強いが、より低コストで対応できるよう素材や技術面も含めて検討していく。		
	(1) 17年度予算見積の方向性	<input checked="" type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2) 理由 平成17年度においては「杉並区の指定登録文化財」だけでなく、「杉並区史跡散歩地図」の刊行を予定している。15年度と同様に単なる増刷を行うにしても、単価及び発行部数と同等規模で見積った場合、約410,000円の増となる。		

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		指定文化財等補助				整理番号	812		枝番号		3	
担当部課名	教育委員会事務局社会教育スポーツ課			コード	600710		連絡先電話番号	1667		昨年度整理番号	864	
係名	文化財係			上位施策名				No				
予算事業名	文化財調査・保護			コード	81400		文化・芸術活動の推進				65	
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成				57 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				(1) 杉並区文化財保護条例							
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				(2) 杉並区文化財保存事業補助金交付要綱							
	杉並区指定文化財				(3)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 区指定文化財の劣化・破損が著しく、今後の保存に耐えられない場合、その修理に対して補助金を交付し修理経費に充てさせる。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 指定文化財を良好な状態に保ち、今後の保存・活用が円滑に行えるようにする。							
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標								
(1) 補助金交付件数				(1) 補助金交付件数 ÷ 補助金申出件数								
(2)				(2)								
区分	単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値		目標値に対する15年度の達成率%			
				計画	実績		年度					
指標	活動指標(1)	件	0	1	1	1	0					
	活動指標(2)											
	成果指標(1)	%	0	1	100	100	0					
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	0	206	23,000	23,000	0	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)			
	(内)委託費		千円									
	職員数(正規 非常勤)		人	0.00 0.00	0.40 0.00	0.80 0.00	0.80 0.00	0.00 0.00				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	3,598	7,195	7,195	0				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 + +		千円	0	3,804	30,195	30,195	0				
	単位あたりコスト ÷		円		3,804,000	30,195,000	30,195,000					
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0	
差引:一般財源 -		千円	0	3,804	30,195	30,195	0					
受益者負担比率 ÷		%		0.0	0.0	0.0						
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の15年度達成率%	100.0		活動指標(2)の15年度達成率%			15年度予算執行率%	100.0			
		計画どおりの執行であった。										
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		16年度については、所有者から指定文化財の修理等の計画の申し出がなかったため、特に予算を取らなかった。										

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	指定文化財所有者からの申し出により、実際の文化財の劣化・破損状況を調査した上で、補助金を交付している。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	指定文化財が望ましい状況で修理等がなされたことにより、安心して活用でき、たいへん好評である。
	今後の予測	文化財の劣化・破損等については、今後それぞれについて進行することはあってもなくなることはないの、必要に応じて、適切な処置をする必要がある。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 区の文化財を後世に残し、活用していくためには必要不可欠なものであり、貢献度は大きい。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は NPO・企業等と行政がともに主体として実施(^)	理由: 区と文化財の所有者が協力してその文化財を守ってゆかねばならないため。
	協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	理由または具体的内容: 指定文化財等補助は、要綱上も補助事業にかかる経費の8割未満となっており、15年度実施事業も全経費の約5割の補助であった。すなわち、文化財保存のため、所有者にも相当の負担を強いている。
	協働等の相手 企業・個人事業者(^)	
	協働等の主な形態 補助・助成(具体的内容)	
	(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容: 文化財の劣化・破損等の状況が深刻になってからでは、その修復に莫大な費用がかかるが、早期処置や予防処置を事前に行っていけば、少ない経費で劣化を止められる可能性がある。
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 区民全体が受益者であり、受益率の測定も困難である。	
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 劣化・破損した文化財の状況によってかかる必要経費は異なるため、通常の「コスト」という感覚は合わない。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄				
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 指定文化財等補助に、これまでの文化財保護奨励金の交付をリンクさせ、保存処置や劣化予防を積極的に行っていくことで、修復等に莫大な経費がかかるようになる以前に、早期の保存・劣化予防処置が行えれば、必要経費は下げられる。						
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 文化財の劣化は、進行することはあってもなくなることはないの、早期の発見・処置を積極的に行っていく必要がある。また、指定文化財補助と奨励金をリンクさせ、早期の劣化・破損防止処置や保存処理を行うためには、文化財保護奨励金の制度の基本的な見直しを行う必要がある。						
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増	<input type="radio"/> 増	<input checked="" type="radio"/> 増減なし	<input type="radio"/> 減	<input type="radio"/> 大幅減	<input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 今のところ、指定文化財等の著しい劣化・破損の情報、あるいは指定文化財の修理等の希望の情報が出ていないため、17年度の指定文化財等補助は行う予定はない。						

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		指定登録文化財保護奨励金				整理番号	813		枝番号			
担当部課名	教育委員会事務局社会教育スポーツ課			コード	600710	連絡先電話番号	1667		昨年度整理番号	865		
係名	文化財係			上位施策名				No				
予算事業名	文化財調査・保護			コード	81400		文化・芸術活動の推進				65	
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成				58 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				(1) 杉並区文化財保護条例							
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 杉並区指定・登録文化財の所有者・保持団体等				(2) 杉並区文化財保護奨励金交付要綱							
					(3)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 杉並区指定・登録文化財の保護を奨励するため、その所有者・保持団体等に対して、奨励金を交付する。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 杉並区指定・登録文化財の所有者に対して、奨励金の交付により、文化財保護の意識を高めさせる。							
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標								
(1) 文化財保護奨励金の支出件数				(1) 支出件数の前年度比								
(2) 文化財保護奨励金の支出金額				(2) 支出金額の前年度比								
区分		単位	13年度実績		14年度実績		15年度		16年度計画	目標値		目標値に対する15年度の達成率%
			計画	実績	計画	実績	計画	実績		年度		
指標	活動指標(1)		件	94	97	100	100	103				
	活動指標(2)		円	1,515,000	1,550,000	1,580,000	1,572,500	1,610,000				
	成果指標(1)		%	103	103	103	103	103				
	成果指標(2)		%	102	102	102	101	102				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,515	1,550	1,580	1,573	1,610	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)			
	(内)委託費		千円									
	職員数(正規 非常勤)		人	0.42 0.00	0.42 0.00	0.41 0.00	0.20 0.00	0.20 0.00				
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	3,777	3,777	3,688	1,799				1,799
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0				0
	総事業費 ++		千円	5,292	5,327	5,268	3,372	3,409				
	単位あたりコスト ÷		円	56,298	54,918	52,680	33,720	33,097				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0				0
差引:一般財源 -		千円	5,292	5,327	5,268	3,372	3,409					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の15年度達成率%	100.0		活動指標(2)の15年度達成率%	99.5		15年度予算執行率%	99.6		
			平成15年度も予定どおりの支出件数であったが、当初指定物件と見込んでいたものが登録文化財となったため、支出金額が多少減額となった。									
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			16年度も従来どおりの支出を行う。									

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	杉並区の文化財保護制度が始まって以来、指定登録文化財は年々増えており、それに伴い支出件数及び金額は年々微増している。 このため、平成12年度に一度交付金の支出額の見直しを行い、支出金額の総額を下げたが、そこからまた微増している。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	奨励金の交付は、所有者に歓迎されており、これにより文化財保護の意識は高まっている。また、文化財保護の経費として使用されているため、指定登録物件の保護にも役立っている。
	今後の予測	例年、3～4件の文化財の指定登録が行われており、今後もこのペースで推移するものと予測される。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由: 奨励金を交付することにより、所有者の文化財保護に対する高い意識が保持されている。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が主体、NPO・企業等が協力(^)	理由
	協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	理由または具体的内容: 奨励金は、区登録・指定文化財の所有者・保持者・保持団体で当該文化財の保護・保存又は公開等の活動を行った者に対して交付している。 金額については、個々の文化財によって別に定めている。
	協働等の相手 企業・個人事業者(^)	
	協働等の主な形態 補助・助成(具体的内容)	
(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^)	理由または具体的内容: 補助金単価の減額だけでなく、制度自体を見直し、一律の単価で交付するのではなく必要に応じた奨励金の交付を行うことにより、文化財の保護をより確実にしていくことは可能と考える。	
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 区指定登録文化財の所有者等は、当該文化財に対する管理義務等の制約を受けるため、受益者とは言いがたく、受益率の測定も困難である。	
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 交付単価を下げることは可能だが、軽微な修理、保存措置など、必要に応じた奨励金の交付と並行して行わなければ、ただの経費削減と見られ、文化財所有者や区民の信用を損ねる可能性がある。現行の予算を有効に活用し、積極的な文化財保護の奨励を行う必要があるため。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 16年度に奨励金の制度を見直し、奨励金を一律交付ではなく必要に応じて交付する制度に変革し、指定文化財等補助の事業とリンクさせてゆくことにより、文化財保護の意識を維持すると同時に、早期の劣化防止、保存処理が行えれば、指定文化財補助の経費を軽減することが可能である。		
17年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 奨励金制度自体の見直しとなるため、文化財所有者などの理解を得、慎重に行っていく必要がある。		
	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
(2) 理由 奨励金の基本単価を下げることにより発生する余剰金を、必要に応じて保存処理や劣化防止を行う所有者に適正に交付してゆく必要がある。単なる減額だけでは、文化財保護の意識も低下し、文化財所有者や区民の信用を損ねる可能性がある。現行の予算を有効に活用し、積極的かつ有効な文化財保護の奨励を行う必要があるため。			

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		郷土芸能大会				整理番号	814		枝番号				
担当部課名	教育委員会事務局社会教育スポーツ課			コード	600710	連絡先電話番号	1666		昨年度整理番号	866			
係名	文化財係				上位施策名				No				
予算事業名	文化財調査・保護			コード	81400		文化・芸術活動の推進				65		
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 59 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業								
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				(1) 杉並区文化財保護条例								
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 一般区民				(2) 杉並区文化財保護条例施行規則								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 杉並郷土芸能保存会が主催する杉並郷土芸能大会に対し、共催分担金を交付し、区の郷土芸能が区民の目に触れる機会をつくる。				(3) 杉並区文化財保護奨励金交付要綱								
	活動指標名(式) (1) 郷土芸能大会の入場者数 (2) 郷土芸能大会参加団体の会員数				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 古くから杉並の各地域に伝承されている無形民俗文化財等の郷土芸能を、区民に無料公開することにより、無形文化財に対する区民の興味・関心を高め、伝統芸能の保存団体には発表の場を保障することで、郷土芸能存続の一助とする。								
				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 郷土芸能大会の入場者数 ÷ 杉並区民人口 (2) 郷土芸能大会参加団体の会員総数の前年度比									
区分		単位	13年度実績		14年度実績		15年度		16年度		目標値	目標値に対する15年度の達成率%	
							計画	実績	計画	年度			
指標	活動指標(1)		人	264	213	568	187	568					
	活動指標(2)		人	250	243	250	243	250					
	成果指標(1)		%	0,05	0,04	0,11	0,03	0,11					
	成果指標(2)		%	96	97	103	100	103					
総事業費・コスト把握	事業費		千円	650		400		400		400		特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)	
	(内)委託費		千円										
	職員数(正規 非常勤)		人	0.42	0.00	0.41	0.00	0.41	0.00	0.52	0.00		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	3,777		3,688		3,688		4,677		
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0		
	総事業費 + +		千円	4,427		4,088		4,088		5,077			
	単位あたりコスト ÷		円	16,769		19,192		7,197		27,150			
	財源	受益者負担分		千円									
		国・都等からの支出金		千円	0		0		0		0		
		特定財源計 +		千円	0		0		0		0		
差引:一般財源 -		千円	4,427		4,088		4,088		5,077				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0				
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の15年度達成率%		32.9	活動指標(2)の15年度達成率%		97.2	15年度予算執行率%		100.0		
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			PR活動をより積極的に行い、入場者数の増加を図る。										

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	昭和59年度の第1回大会開催以来、毎年度1回、一般区民に無料で公開している。(ただし、昭和60年度は、未実施)
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	郷土の伝統芸能が継承されていることに対して、「感嘆した」「感動した」等の声が多く聞かれた。
	今後の予測	後継者難もあるが、小・中学生の新たな参加もあり、杉並の郷土芸能は着実に継承されていくと予測される。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 郷土の伝統芸能を、年1回、区民に無料で公開することにより、区民の郷土芸能に対する関心を高めている。したがって、施策への貢献度は大きい。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は NPO・企業等と行政がともに主体として実施(^)	理由: 郷土芸能大会は、杉並区郷土芸能保存会と区との共催事業であるため。
	協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	理由または具体的内容: 「杉並郷土芸能大会」教育委員会共催分担金を支出している。
	協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	
	協働等の主な形態 共催(具体的内容)	
	(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容: 区の広報への掲載及びポスターやプログラムを有効に活用し、入場者数の増加を図る。
成果向上のための方策 その他(具体的内容)		
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 郷土芸能大会開催に伴う主催者(杉並郷土芸能保存会)の時間的・経済的負担は大きく、受益者とは言いがたい。また、受益率の測定も困難である。	
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 郷土芸能の公開に際して、出演者や上演時間を圧縮することは不可能であり、コスト削減は困難である。	

今後の事業のあり方 (中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 PR活動の方法をより多様化し、入場者数の増加をめざす。		
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 郷土芸能大会についてのPR記事を、鉄道会社発行の観光用パンフレットやポスターなどに掲載してもらうためには、事前の許可等が必要であろうと推測する。 しかし、郷土芸能大会の意義や背景について積極的に説明し、理解を得るようにしていく。		
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2) 理由 毎年、同規模での実施を考えているため。		

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		指定登録候補等調査委託				整理番号	815		枝番号		
担当部課名	教育委員会事務局社会教育スポーツ課			コード	600710	連絡先電話番号	1667		昨年度整理番号	868	
係名	文化財係			上位施策名				No			
予算事業名	文化財調査・保護			コード	81400		文化・芸術活動の推進				65
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成				57 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				(1) 文化財保護法						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(2) 杉並区文化財保護条例						
	区内の有形・無形の文化財				(3)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 区内の指定登録文化財候補物件の調査を行い、文化財保護審議会で審議するための材料を調える。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 区内の指定登録文化財候補物件について、指定・登録の要件に合致するか否かの調査を行い、指定登録のための調書の元となる資料を収集する。						
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
(1) 文化財調査委託の件数				(1) 文化財調査委託の件数 ÷ 指定登録候補物件数							
(2)				(2)							
区分	単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値		目標値に対する15年度の達成率%		
				計画	実績		年度				
指標	活動指標(1)	件	4	5	3	3	4				
	活動指標(2)										
	成果指標(1)	%	100	167	100	100	133				
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	400	400	400	300	400	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)委託費		千円	400	400	400	300	400			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.91 0.50	0.51 0.50	0.52 0.50	0.52 0.50	0.85 0.70			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	8,185	4,587	4,677	4,677	7,645			
		非常勤職員分	千円	1,380	1,380	1,380	1,380	1,931			
	総事業費 + +		千円	9,965	6,367	6,457	6,357	9,976			
	単位あたりコスト ÷		円	2,491,250	1,273,400	2,152,333	2,119,000	2,494,000			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0
差引:一般財源 -		千円	9,965	6,367	6,457	6,357	9,976				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の15年度達成率%	100.0		活動指標(2)の15年度達成率%			15年度予算執行率%	75.0		
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		文化財の指定登録を判断するのに必要な調書作成のための調査委託であるため、区が文化財の指定登録を行う限り必要不可欠な業務である。 高度の専門的知識を有する学識経験者への文化財調査委託であるため、コスト低減は困難であるが、より効果的で、きめの細かい調査ができるよう検討を進めていくと同時に、職員で対応できる部分はできるだけ、職員が行うことにより委託料を下げる努力をする。									

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	昭和57年の杉並区文化財保護条例制定以来、区の指定登録候補について、高度な専門的知識を有する学識経験者に調査を委託している。また、候補物件によっては、多面的な調査が必要になるため、必要に応じて1つの物件に対して2件以上の調査委託を行い、より多角的かつ詳細なデータを残している。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	地域の歴史・文化に対する区民の関心の高まりに伴い、区の指定登録文化財への区民の関心も高まっている。
	今後の予測	区の指定登録文化財は、ここ数年、毎年3～4件ずつ増加している。今後もこのペースで推移するものと予測される。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 高度の専門的知識を有する学識経験者による文化財調査は、区の文化財保護・活用に不可欠である。したがって、施策への貢献度は大きい。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は NPO・企業等と行政がともに主体として実施(^)	理由:
	協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	理由または具体的内容: 杉並区文化財保護審議会委員に区内の指定・登録文化財候補物件の調査を委託し、委員は文化財保護審議会において審議するための調査報告書を調える。
	協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^)	
	協働等の主な形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	
(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容: 現在も十分な成果が上がっているが、調査対象を吟味し、よりの確な調査者(受託者)を選定し、効率的な調査を行うと同時に、調査内容を分割しそれぞれに委託料を振り分けることにより、成果を向上させることは可能と考える。	
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 区民全体が受益者であり、受益率の測定も困難である。	
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 委託先は、高度の専門的知識を有する学識経験者であり、調査の水準を落とすことはできない。したがって、コストの低減を図ることは、困難な側面が強い。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 従来の文化財調査の水準を落とさず、より効果的で、きめの細かい調査は可能なのか、検討を進める。		
17年度方針	(2) 理由 指定登録候補等調査委託費は、単価・件数とも、変更を予定していないため。		
	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		埋蔵文化財調査				整理番号	816		枝番号		
担当部課名	教育委員会事務局社会教育スポーツ課			コード	600710		連絡先電話番号	昨年度整理番号	-		
係名	文化財係			上位施策名				No			
予算事業名	文化財調査・保護			コード	81400		文化・芸術活動の推進		65		
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 43 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				(1) 文化財保護法						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(2) 杉並区文化財保護条例						
	区内埋蔵文化財				(3)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 区内で計画された建築・開発等行為について、窓口で問い合わせを受け、当該事業が埋蔵文化財に影響を及ぼすか否かを判断する。その際に必要に応じて当該文化財の保存・保護について指導・助言を行う。また、埋蔵文化財の調査が行われる場合には、その監督・指導を行う。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 区内で行われる開発等行為に関して、埋蔵文化財の適正な保存処置が行われるように指導する。						
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
(1) 埋蔵文化財包蔵地問合せ件数				(1) 埋蔵文化財包蔵地問合せ件数の前年度増減比							
(2) 埋蔵文化財立会い・試掘調査及び本調査件数				(2) 埋蔵文化財立会い・試掘調査及び本調査件数の前年度増減比							
区分		単位	13年度実績		14年度実績		15年度		16年度計画	目標値	目標値に対する15年度の達成率%
			計画	実績	計画	実績	年度				
指標	活動指標(1)		件	2,691	3,449	3,449	4,890	4,890			
	活動指標(2)		件	37	26	26	56	56			
	成果指標(1)		%	100	128	100	142	100			
	成果指標(2)		%	102	70	100	215	100			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	0	0	0	0	2,000	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)委託費		千円	0	0	0	0	2,000			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.80 0.80	0.60 0.80	0.20 1.50	0.20 1.00	0.20 1.50			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	7,195	5,396	1,799	1,799			1,799
		非常勤職員分		千円	2,207	2,207	4,139	2,759			4,139
	総事業費 + +		千円	9,402	7,603	5,938	4,558	7,938			
	単位あたりコスト ÷		円	3,494	2,204	1,722	932	1,623			
	財源	受益者負担分		千円							0
		国・都等からの支出金		千円							1,500
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			1,500
差引:一般財源 -		千円	9,402	7,603	5,938	4,558	6,438				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の15年度達成率%	141.8	活動指標(2)の15年度達成率%	215.4	15年度予算執行率%				
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			原則として埋蔵文化財の調査費用は事業主が負担することとなっているが、個人の専用住宅を個人が建設をする場合に、非営利目的の工事であり調査費用を負担することは非常に難しいため、この場合における費用負担は自治体が行うことが望ましいと考えられていた。こういった状況の中で、本年度から当該事業を対象として、区が発掘調査を実施することとした。尚、本事業費には国及び都による補助金が執行される予定である。								

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	当初より埋蔵文化財の保存のための発掘調査は行われてきたが、近年、小規模な開発行為についても埋蔵文化財調査の必要性が指摘されている。こうした中で、事業主である法人・個人に埋蔵文化財保護の趣旨を広く知らしめるとともに、窓口寄せられる各案件ごとに迅速且つ適切な判断することにより、事業主の理解も深まり事業の件数は急速に増加している傾向にある。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	個人の専用住宅建築等、事業主が調査に係る費用を負担することが困難な場合に、区がその費用を負担することにより、文化財が適正に保存されることが望まれている。
	今後の予測	窓口での埋蔵文化財包蔵地問合わせ件数は急速に増加する傾向にある。本活動が事業主及び事業関係者により深く浸透することにより、今後、増加することが予測される。埋蔵文化財立会い・試掘調査及び本調査件数は、立会い件数が今後とも増加することが予測され、本調査件数については、本年度より施行されている区内遺跡発掘調査事業予算の増加が予測される。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか	理由: 本事業は文化財保護法により地方自治体の業務として規定されているものであり、これがなければ埋蔵文化財保護は保たれない。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は	理由:
	協働等は実現しているか	理由または具体的内容: 建設・建築事業に際しての埋蔵文化財に係る諸々の留意事項等について、窓口対応を行う。
	協働等の相手	また、現場での発掘調査に際しては、監督・指導を行う。発掘調査及び報告書作成業務は、専門知識及び特殊作業が必要であり、長期にわたって専任する必要があるため、区単独での調査等は現状では不可能となっている。このため、業務は遺跡発掘調査団を組織し、団が行う。
	(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか	理由または具体的内容: 区内遺跡発掘調査事業費は本年度施行され始めたばかりであり、個人の専用住宅建設に関連する埋蔵文化財の調査にこれをあてることにより、従来では不足しがちであった当該案件に関する調査の充実を図ることはできるが、16年度の事業実績により次年度以降判断したい。
	(4) 受益者負担の見直し余地は	理由または具体的内容: 埋蔵文化財は国民共有の財産であり、この意味で受益者は国民全体であり、個別の受益者を特定することはできない。
(5) コストを下げる余地はあるか	理由または具体的内容: 当該事業に予算が計上されたのは16年度からであるため、コストの検討は16年度の事業実績により判断したい。しかし住宅建設は増加傾向にあるため、経費増が予測されるが、事業の効率化により支出を抑えることは可能であると考えられる。	

今後の事業のあり方 (中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄				
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 本事業費は16年度より計上されたものであり、今後は予算の適正な執行を図る中で、予測される事業の増加には効率よく対応する。						
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 現在当該事業に対しては、事業費の75%が国及び都の補助金であるが、この補助金が無くなった場合の区の対応が不安定である。						
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増	<input type="radio"/> 増	<input checked="" type="radio"/> 増減なし	<input type="radio"/> 減	<input type="radio"/> 大幅減	<input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 本事業費は本年度より計上されたものであるため、17年度は現行のまま事業を推進していく。						

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		文化活動				整理番号	839		枝番号			
担当部課名		教育委員会事務局社会教育スポーツ課		コード	600716	連絡先電話番号	4712		昨年度整理番号	893		
係名					社会教育センター		上位施策名			No		
予算事業名					文化活動		コード	82000		文化・芸術活動の推進	65	
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		38年度		根拠法令等			<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 社会教育法第3条、第5条第1号・第7号・第11号・第15号					
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区立社会教育センター及び社会教育会館条例					
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				総合文化祭の開催や文化団体の活動支援により区民の文化活動を振興する。また、杉並ユネスコ協会との共催等により、青少年や成人を対象としたユネスコ事業を実施する。							
	活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
				(1) 総合文化祭の延べ来場者数		(1) 総合文化祭延べ来場者数 ÷ 会場延べ定員						
				(2) 事業実施回数		(2) ユネスコ活動参加人数						
区分		単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度		目標値	目標値に対する15年度の達成率%		
					計画	実績	計画		17年度			
指標	活動指標(1)		人	12,068	12,715	20,000	17,097	20,000	20,000	85.5		
	活動指標(2)		回	35	38	35	38	25	25	152.0		
	成果指標(1)		%	124	118	100	158	100	100	158.0		
	成果指標(2)		人		1,106	1,000	1,069	700	700	152.7		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	5,222	5,222	5,231	5,225	5,340		特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 活動指標および成果指標の数値は前年度までは杉並ユネスコ協会の自主事業分も含めていたが、評価対象事務事業分類の更正(前年度社会教育団体事業活動助成)を行ったことから、今年度(16年度)より計上しないこととした。		
	(内)委託費		千円	0	0	0	0	0				
	職員数(正規 非常勤)		人			1.16	0.00	1.70	0.20		0.82	0.50
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	0	0	10,433	15,290	7,375			
		非常勤職員分		千円	0	0	0	552	1,380			
	総事業費 + +		千円	5,222	5,222	15,664	21,067	14,095				
	単位あたりコスト ÷		円	433	411	783	1,232	705				
	財源	受益者負担分		千円	120	0	0	0	0			
		国・都等からの支出金		千円	2,000	0	0	0	0			
		特定財源計 +		千円	2,120	0	0	0	0			
差引:一般財源 -		千円	3,102	5,222	15,664	21,067	14,095					
受益者負担比率 ÷		%	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0					
15年度予算執行状況(節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の15年度達成率%	85.5	活動指標(2)の15年度達成率%	108.6	15年度予算執行率%	99.9				
			ほぼ計画どおりに実施された。									
前年度の改革案の取り組み状況(16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			区民の参加による「区民文化の日」を実施するとともに、区内のプロ作家による「美術作品展」を実施し、区民に芸術に親しむ機会を提供した。また、ユネスコ活動では、学校の求めに応じ、総合学習や部活動において「国際理解教育」「平和教育」を行った。区立菅平学園が廃止、民間施設での開催となり、施設使用料を主とする事業経費が不足したため、分担金の増額をした。									

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	昭和26年から「杉並区民文化祭」を開催している。平成10年に文化交流協会が設立され、それぞれの役割分担で事業を行っている。ユネスコ活動に関しては、近年の国際間の紛争が続く中で、平和への取組みの必要性は高くなっている。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	文化祭や文化団体連合会の運営をさまざまなジャンルに、より開かれたものとしていくことが求められている。 学校教育での杉並ユネスコ協会への協力要請が増加している。
	今後の予測	公会堂の改築後(平成18年度)の杉並区の文化芸術振興のあり方が問われており、その結論によっては文化芸術への取組みの再構築が必要となってくる。ユネスコ活動に関しては、期待が大きくなっており、関連機関との直接的・間接的な協働事業は増加するものと予測される。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由) ▼	理由:文化団体と協働で事業実施することで、文化芸術活動の推進に貢献している。また、平和宣言を行っている当区において、ユネスコ精神の普及啓発を通して平和を積極的に希求する意義は大きい。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は NPO・企業等と行政がともに主体として実施(^) ▼	理由または具体的内容: 事業の企画・実施・・・団体 参加者募集(広報)・施設提供・関係機関との連絡調整・・・区
	協働等は実現しているか 十分に実現している(^) ▼	
	協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^) ▼	
	協働等の主な形態 共催(具体的内容) ▼	
(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() ▼	理由または具体的内容:文化団体に限らない幅広い区民の参画を得て「区民文化の日」等を充実させる。また、関係機関と杉並ユネスコ協会との連携を深めることで、より充実したユネスコ活動を展開する。	
成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容) ▼		
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由) ▼	理由または具体的内容:必要な部分については、既に受益者負担が行われている。	
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由) ▼	理由または具体的内容:団体への補助金及び分担金は見直しを行っている。ユネスコ教室で使用していた区立菅平学園が廃止となり民間施設での開催となったことから、参加費を増額しても施設使用料を主とする事業経費が不足したため、やむをえず分担金を増額したところである。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 公会堂の改築後(平成18年度)の杉並区の文化芸術振興のあり方が問われており、その結論によっては文化芸術への取組みの再構築が必要となってくる。ユネスコ活動に関しては、引き続き学校教育との連携や、NPOなどとの連携を強めていく。		
17年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 区の考える方向性と、団体の意思との調整が必要である。		
	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2) 理由 引き続き、一般区民からの文化祭への出品・出演を促進し、多くの区民が文化芸術に親しめる場としていく取組みを、よりわかりやすい形で進めていく。ユネスコ活動に関しては、連携の推進により効果的な活動を展開していく。		

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		特別展及び企画展の開催				整理番号	862		枝番号				
担当部課名		教育委員会事務局郷土博物館		コード	601131		連絡先電話番号	3317-0841		昨年度整理番号	916		
係名				上位施策名				No					
予算事業名				郷土博物館運営管理		コード	82340		文化・芸術活動の推進		65		
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 元 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業								
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				(1) 博物館法								
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 一般区民				(2) 杉並区郷土博物館条例								
					(3) 杉並区郷土博物館条例施行規則								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 年3回、各回1~2ヶ月程度、郷土に係る内容の展示を行う。資料収集や調査を行い、展示期間中に講演会や講座などの関連行事を行う。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 展示をとおして区民が郷土の歴史文化への興味を抱ききっかけを提供する。郷土の歴史文化面の研究を進める。								
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標									
(1) 展示開催日数				(1) 展示期間中入館者数									
(2) 図録作成数				(2) (代)館での図録配布数									
区分	単位	13年度実績		14年度実績		15年度計画		15年度実績		16年度計画		目標値	目標値に対する15年度の達成率%
		計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	年度			
指標	活動指標(1)		日	159	80	100	120	80					
	活動指標(2)		点	1	1	2	2	2					
	成果指標(1)		人	10,078	5,473	6,000	7,130	5,000					
	成果指標(2)		冊	1,143	1,045	1,500	2,274	1,000					
総事業費・コスト把握	事業費		千円	5,732	4,967	7,846	6,455	7,846	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 秋の企画展「狂言装束と杉並能楽堂」では山本東次郎氏の全面的協力により、資料運搬費の支出が不要であった。				
	(内)委託費		千円	2,061	1,613	3,650	1,508	3,650					
	職員数(正規 非常勤)		人	1.50 1.50	1.80 1.50	1.80 1.50	1.93 1.50	1.50 1.20					
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	13,491	16,189	16,189	17,358					13,491
		非常勤職員分		千円	4,139	4,139	4,139	4,139					3,311
	総事業費 + +		千円	23,362	25,295	28,174	27,952	24,648					
	単位あたりコスト ÷		円	146,931	316,188	281,740	232,933	308,100					
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0					0
		国・都等からの支出金		千円	0	0	0	0					0
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0					0
差引:一般財源 -		千円	23,362	25,295	28,174	27,952	24,648						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の15年度達成率%	120.0		活動指標(2)の15年度達成率%	100.0		15年度予算執行率%	82.3				
夏の企画展「すぎなみバスものがたり」、秋の企画展「狂言装束と杉並能楽堂」、春の特別展「上井草球場の軌跡」、各回全ての展示について、関係者から多大な協力を得られた結果、支出を抑えつつ成功を納めることができました。													
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)													

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	開館当初より、年間2～4回程度の企画展、特別展を開催している。 H11より準常設展「杉並文学館」を開始。企画展、特別展の合間に開催している。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	特別展企画展の充実(アンケート)
	今後の予測	多様化・専門化する学習課題に対応するため、職員にもより専門的な知識が必要である。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 展示や関連行事をとし、郷土の歴史文化に触れる機会を提供している。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は NPO・企業等と行政がともに主体として実施(^)	理由: 資料の取扱や調査研究方法、展示のノウハウには経験や学識が不可欠であるもの、地域博物館の活動も区民との協働によることで区民の積極的な地域文化の発見、学習へと貢献できるものと思われる。展示に際し印刷物作成や展示パネル作成等については既に業務委託している。
	協働等は実現しているか 一部実現している(^)	理由または具体的内容: ポスター、図録、展示パネル、垂れ幕等の作成について委託している。
	協働等の相手 企業・個人事業者(^)	
	協働等の主な形態 委託 [業務量の50%未満に相当] (具体的内容)	
(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容: 専門性ある職員の配置によってのみ可能。	
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 「区民自らが区の歴史を理解し、明日の杉並を考える場」として設立された博物館の趣旨からすれば、誰もが利用できる条件として、特別展・企画展の観覧料を別途徴収せず、通常の観覧料のみとする現状は妥当である。	
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	展示の充実を図っていくには専門性を持った職員(学芸員)の配置が必要不可欠である。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 設立の趣旨に照らし、展示をとおしてより多角的な情報提供と、区民参加・参画が実現するように条件整備をしていく。		
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2) 理由 これまで同様・同規模の事業展開を継続の予定である。		

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		講座・教室の開催等				整理番号	863		枝番号				
担当部課名		教育委員会事務局郷土博物館		コード	601131	連絡先電話番号	3317-0841		昨年度整理番号	917-919			
係名				上位施策名				No					
予算事業名				郷土博物館運営管理		コード	82340		文化・芸術活動の推進		65		
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 元 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業								
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				(1) 博物館法								
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 一般区民				(2) 杉並区郷土博物館条例								
					(3) 杉並区郷土博物館条例施行規則								
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 郷土史講座(2回) 古文書講座(全4回) 親子体験教室(3回) 大宮前囃子実演(1回) 年中行事(端午節句、七夕、月見、餅つき、節分、雛祭り 餅つきは町会の協力による) 子ども博物館教室(通年11回 小学4年生以上)				事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか） 各種の講座、教室等を開催し、展示とは異なる形で郷土の歴史文化を理解する場を提供する。								
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標									
(1) 開催件数				(1) 参加者数									
(2)				(2)									
区分		単位	13年度実績		14年度実績		15年度		16年度		目標値	目標値に対する15年度達成率%	
							計画	実績	計画	20年度			
指標	活動指標(1)		件	29		29		28	28	29	28	100.0	
	活動指標(2)												
	成果指標(1)		人	556		761		700	774	700	700	110.6	
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円	240		505		892	527	901	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 平成14年度より親子体験教室が新規事業として加わったため事業費増となった。 平成15年度は子ども博物館教室の開始月が5月であった。(他年度4月)		
	(内)委託費		千円	0		0		0	0	0			
	職員数(正規 非常勤)		人	1.00	1.50	1.20	1.50	1.20	1.50	1.00			1.20
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	8,994		10,793		10,793	11,602			8,994
		非常勤職員分		千円	4,139		4,139		4,139	4,139			3,311
	総事業費 + +		千円	13,373		15,437		15,824	16,268	13,206			
	単位あたりコスト ÷		円	461,138		532,310		565,143	581,000	455,379			
	財源	受益者負担分		千円	0		0		0	0			0
		国・都等からの支出金		千円	0		0		0	0			0
		特定財源計 +		千円	0		0		0	0			0
差引:一般財源 -		千円	13,373		15,437		15,824	16,268	13,206				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0	0.0	0.0				
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の15年度達成率%	100.0		活動指標(2)の15年度達成率%			15年度予算執行率%	59.1			
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			親子体験教室、年中行事と子ども博物館教室の多くについて、外部に講師を依頼せず職員のみで対応したため、予算執行率は低く抑えられた。										

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	H13より親子体験教室を開催(教育改革アクションプランの一環)
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	講座参加者からは各回ほぼ満足とのアンケート結果を得ている。講座・教室等の開催回数を増やして欲しい旨の意見がある。
	今後の予測	より多くの方に参加いただけるよう、今後も講座を充実させていく。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:講座・教室・伝統芸能実演の実施は文化・芸術活動そのものである。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が主体、NPO・企業等が協力(^)	理由:行政一般でいう協働概念は該当しないが、区民の参加・参画は必要。
	協働等は実現しているか 一部実現している(^)	理由または具体的内容: 餅つきは大宮1丁目自治会とともに協力して開催している。 15年度は親子体験教室に小学校新任教諭1名及び博物館実習生5名が実習の一環として参加した。 15年度から子ども博物館教室にサブリーダー制度を設けた。過去教室の参加者に職員と一緒に毎月の教室運営をしてもらうというもので、4人の子どもが参加した。
	協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	
	協働等の主な形態 事業協力(具体的内容)	
(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容:区民が参加・参画することにより、より大きな成果を遂げることができる。	
成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)		
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:現在古文書講座のテキスト代など、一部負担していただいている。	
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:年中行事や講座に要する材料などは職員が工夫して手作りすることも多く、これ以上のコスト削減は難しい。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄				
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 博物館事業には常に指導が伴い、取り扱うものも歴史的文化的に貴重なものが多いため、行政一般の協働概念は馴染まない。職員や知識を有する学芸員の指導の下に区民が参加、参画をするための手法を検討し、今後の講座等開催に生かしていく。						
(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 参加・参画型の事業展開を進めるには職員の負担増大は避けられない。事業目的遂行のためは、専門学芸員の配置が不可欠である。							
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増	<input type="radio"/> 増	<input checked="" type="radio"/> 増減なし	<input type="radio"/> 減	<input type="radio"/> 大幅減	<input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 これまでと同規模の事業内容を継続の予定である。						